



ローリー シーク ファミリー：未だスターを作出 <前編>

Holstein Journal 2013 年 7 月

著：Bonnie Cooper

世界には数々の素晴らしいカウファミリーが存在するが、伝説のコムスター ローリー シーク ET (VG88-23*) ファミリーほどの持続性と成功を持つものはほとんどない。この例外的なカウファミリーは、脚光を浴びながらその影響をホルスタイン品種にかつてないほど深く刻み込むトップ雌牛とトップ種雄牛を生産し続けている。この発展の中心には、高く尊敬される二度のマスターブリーダー、マーク コモトワとその妻フランス、そしてコムスターホルスタイン（ケベック州ビクトリアビル）の家族がおり、また、このファミリーを信じる世界中の多くのブリーダーと人工授精所団体が今日のローリー シーク ファミリーを築いてきた。

多くのホルスタイン熱狂者が良く知る通り、このカウファミリーの物語は 1986 年 12 月 1 日コムスター牧場におけるコムスター ローリー シークの誕生と共に四半世紀以上に始まった。ピュージェット サウンド シーク VG (72H0132) を父に、ウィローホルム マーク アンソニー (73H0219) の最も優れた娘牛の一頭であるイライザ アンソニー リー (EX-15*) を母に持つローリー シークは、彼女の長いキャリアにおいて多くの名声を得た。彼女は 1989 年に 2 歳シニアで HM オールカナディアンと HM オールアメリカンになった。1995 年、彼女はホルスタインカナダの“カウ オブ ザ イヤー” 第一号に決定された。幅広く採卵にかけられたローリー シークは、カナダ国内の 2 頭のエクセレント、14 頭のベリーグッド、そして 6 頭のグッドプラスの母になり、ベルギーでは 2 頭のエクセレント、1 頭のベリーグッド娘牛を生んだ。他よりも飛び抜けた結果を生んだのは彼女の“ブラックスター(7H1897)”との交配で、それは 2 頭の息牛コムスター リーダー (EX-Extra/71H1181) とコムスター ランキー (EX-Extra)、そして以下 4 頭の見事な娘牛を生んだ。

- コムスター エル オア ブラック (VG87-16*) : 二度の“カウ オブ ザ イヤー”ファイナリストでリステル レデュック (EX-ST/28H0583) とコムスター アウトサイド (EX95-Extra-GM/73H2479) の母
- コムスター ローラ ブラック (VG87-24*) : 二度の“カウ オブ ザ イヤー”ファイナリストでコムスター リー (EX-Extra/73H2239)、コムスター トップ ガン (VG-Extra/73H2272)、コムスター エルヒーローズ (EX97-Extra/72H1758)、そしてコムスター ラーティスト (EX/70H1210) の母
- コムスター ローザン ブラック (VG87-23*) : カナダのライフタイム プロフィット インデックス (LPI) でナンバーワンを達成した娘牛コムスター ロージアン アスター (VG85-15*) と息牛コムスター ストーマティック (EX-Extra/200H4144) を生んだ唯一の牛
- ブラック ローレ デ ボア セニョール (EX90-ベルギー) : 1996 年ベルギー ナショナル ショウ グランド チャンピオン

カウファミリーの強さ

今日、ローリー シークのその他の雌牛・雄牛の子孫の名はそれぞれの場所でその歴史書に刻まれ、このファミリーの遺産を生きたものになっている。雌牛サイドでは、コムスターで生産された5頭の雌牛がカナダにおけるLPIもしくはジェノミックLPI (GLPI) のナンバーワンになっている。その内、ロータミー、ロータミア、そしてロータミールは三世代連続で皆ナンバーワンに位置した。2006年11月以降、コムスターは1頭から3頭の雌牛をLPIもしくはGLPIカウリストの上位10位以内に送り出し、全頭がローリー シークに遡る。多数の種雄牛の母、ショウ勝利牛、トップ生産能力牛、そして多大な可能性を持って北米のセールで取引される牛であることに加え、このファミリーの雌牛が成し遂げていないことはほとんど無い。

「理論的なバランス ブリーディング」が常にコムスター ホルスタインにおける交配哲学であり、これこそがローリー シーク ファミリーによる成功の根底にある哲学である。

「乳用性、肢蹄、そして乳房の質が未だこのファミリーにおける最も強みの特徴である。そしてこの特徴が長期間に渡る質の良い牛乳の生産を可能にしてきた」とマーク コモトワは言う。

何年経ってもこのファミリーが新鮮で、実用性があり、市場販売性のあるものとして維持するのに欠かせないのが、このファミリーに使われる種雄牛の選択である。これはマーク コモトワが常に優れた気配りを行ってきた分野である。「我々は常に、最も優れたカウファミリーに由来する、最も優れたインデックスと体型を伴う種雄牛を扱ってきた」と彼は言う。「我々は常に種雄牛選択に関して可能な限り最先端に行くよう努めている。これが、ローリー シーク ファミリーがホルスタイン品種において優勢で居続ける助けになってきた。」



コムスター ローリー シーク ET (VG88-23*)

この素晴らしいカウファミリーの女家長。
トップカウとトップ種雄牛を代々生産してきた

ロータミー

何世代にも渡るこのファミリーの中でも、いくつかの枝はインデックスでより知られ、またその他いくつかは体型で知られる。ローリー シークによる“現代”の子孫の1頭で、その両方を併せ持つのがコムスターロータミー タイタニック (VG89-20*) である。マーク コモトワはこう同意する。「コムスターにとってロータミーは、ローリー シーク以降このファミリーにおいて最も注目される牛だ。」この美しい真っ黒い“タイタニック (200H3121)” 娘牛は、そのペディグリー、ショウ勝利体型、高インデックス、そして優れた能力が一つにまとまるローリー シーク一族のベストを例証する。2004年4月生まれのロータミーは、コムスターローテルマ イグナイター (VG89-18*) のベリーグッド娘牛10頭の中の1頭で、この“イグナイター (73H2759)” 娘牛はまた、コムスターローソリティ (Extra/200H5588)、コムスターローバーンズ



コムスター ロータミー タイタニック (VG89-20*)

この“タイタニック” 娘牛はローリー シーク一族のベストを例証する。そのキャリアにおいて六度のカナダ・ナンバーワンLPIカウ、“カウ オブ ザ イヤー”のファイナリスト、そしてリザーブ オール カナディアンである彼女は、コムスターホルスタイン、グランジャラ ポンデローサ (スペイン)、アヒドファミリー/ラトラベシア ファーム (スペイン) によって所有された

(VG-Extra/200H5983)の母でもある。その上の母はコムスター ローザン ブラックから誕生したベリーグッドで2*の“エマーソン (7H6250)”娘牛である。

ロータミーは6ヶ月の仔牛として2004年のセール オブ スターズにおいて10,000ドルでスペイン キャンタブリアのグランジャ ラ ポンデローサとスペイン ナバラのアヒド ファミリー/ラ トラベシア ファームに売られ、マーク コモトワはこの価値ある牛の所有権の一部を維持し、彼女が2010年11月に亡くなるまでコムスターで管理された。ロータミーはジュニア2歳でケベック スプリングのクラストップ、ロイヤル ウィンター フェアのクラス二番になり、2006年のオールケベックトリザーブ オールカナディアンを獲得した。彼女は最初の体格審査でVG87を記録し、初産時の泌乳後期にVG89へ昇格した。1歳11か月の時に始まった初産泌乳期に、彼女は乳量19,043kg、脂肪4.1%、蛋白3.5% (BCA451-509-506※1)を生産した。彼女はその後、4歳記録として乳量21,125kg、脂肪4.5%、蛋白3.4% (352-430-376)を更に付け加えた。

ロータミーはローリー シーク ファミリーが知られる特徴全てを持っていた。彼女はデイルーで、「ミルキング マシーン」であり、質の良い乳房と肢蹄をしていた。4歳になるまでに、彼女はパワフルで体高64インチ(約163cm)の牛へと成長し、コモトワ曰く「真のチャンピオン」になった。

ロータミーはカナダLPI雌牛ランキングで2006年11月から2008年4月まで六度ナンバーワンになった。彼女は2010年“カウ オブ ザ イヤー”のファイナリストであった。ロータミーは傑出したブルードカウ(繁殖雌牛)及び種雄牛の母である。彼女は既に20スターを獲得し、その数は増すのみである。ここカナダで彼女は17頭のベリーグッド、4頭のグッドプラス娘牛を持つ。彼女の搾乳娘牛は平均で乳量15,561kg、脂肪4.1%、蛋白3.2% (294-327-299)を記録する。彼女はまた2頭のエクセレント、3頭のベリーグッド、そして2頭のグッドプラス息牛の母でもあり、現在その内の2頭がクラス エクストラ※2 (Extra)、3頭がスーパーリアー タイプ※3 (ST)、そして1頭がスーパーリアー プロダクション※4 (SP)である。エル トレーダー (VG-Extra/200H5841)、ローマン (Extra/200H5954)、ラバンガード (GP-ST/200H5630)、ロフィシエル (GP-ST/200H5631)、レッセンティエル (VG-ST/200H5633)、そしてブリゲード (EX91-SP)がその息牛である。ロータミーの子は常に高い人気で、受精卵は七つの国へと販売された。ロータミーのファミリーに行われた受精卵移植と体外受精卵の幅広い利用をもとに、マーク コモトワは「ベストはこれからやって来る」と言う。

(後編へ続く)

※1 BCA (Breed Crass Average) : カナダ国内の乳量記録プログラムで使用される乳量・脂肪・蛋白のインデックス。ホルスタイン品種のBCA100基準は、乳量4667kg・脂肪172kg・蛋白149kgを意味する(305日換算、1月に38ヶ月で分娩をした牛の場合)。1952年にBCAが設定されて以降60年以上が経過した現在は、BCA200以上の数値を持つ牛が多数存在する。

(参考: ウェスタンカナダ DHI http://www.agromedia.ca/ADM_Articles/content/dhi_bca.pdf)

※2 クラス エクストラ: 能力及び体型の両方で優れた娘牛を作出する種雄牛に与えられる賞

※3 スーパーリアー タイプ: 体型において優れた娘牛を作出する種雄牛に与えられる賞

※4 スーパーリアー プロダクション: 能力において優れた娘牛を持つ種雄牛に与えられる賞

(参考: ホルスタイン カナダ <https://www.holstein.ca/awards-and-shows/AwardsAndShowsSireAwards/en>)